

2006年7月27日

NTTドコモ 共同調査

子どもの安全

報告書

(2006年6月20日～6月29日調査)

調査の設計	1
結果の概要	4
今回のポイント	7
単純集計	10



社団法人 長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610

<http://www.nagano-yoron.or.jp>

調査の設計

調査の目的

子どもをねらい撃ちにする深刻な犯罪が増え、社会全体の不安と困惑のなかで、とりくみが焦眉の課題になっている。家族、地域、学校、企業それぞれの暮らしの基盤が大きく揺らぎ、対応の道すじは見えにくい。

直面する事態におとなたちがどのように受けとめ「子どもの安全」を確保しようとしているのか、子どもたち自身の自衛の心構えと備えはどうか、当協会会員のNTTドコモ長野支店との共同調査として、県民の動向を探る。

調査の設計

調査対象	長野県世論調査協会の登録モニター 県下の成人500人(男性253人 女性247人) = 全県有権者の縮図になるように選定
調査方法	調査票を郵送 回収は郵送・電話・ファクス・インターネット
調査期間	2006年6月20日～6月29日

回収結果

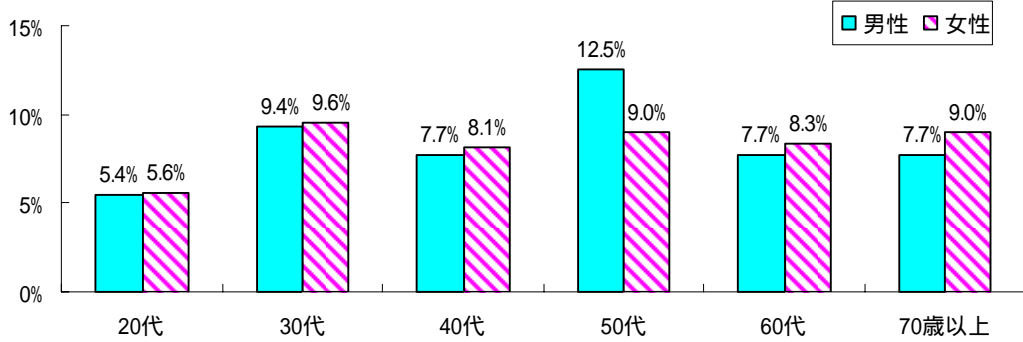
有効回収数	480人(男性242人 女性238人)
回収率	96.0%

<注> 報告書のパーセント数字は小数点2位を四捨五入。合計が100にならない場合がある。

回収サンプルの内訳

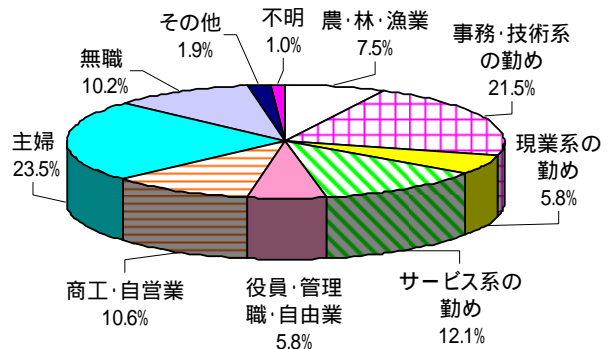
【性別と年代】

	合計	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
全体	480	53	91	76	103	77	80
	100.0%	11.0%	19.0%	15.8%	21.5%	16.0%	16.7%
男性	242	26	45	37	60	37	37
	50.4%	5.4%	9.4%	7.7%	12.5%	7.7%	7.7%
女性	238	27	46	39	43	40	43
	49.6%	5.6%	9.6%	8.1%	9.0%	8.3%	9.0%



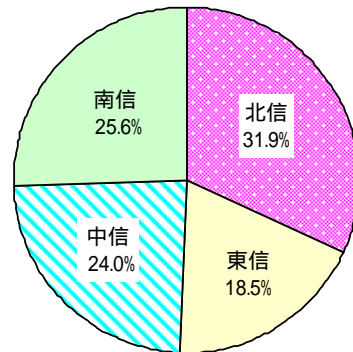
【職業】

農・林・漁業	36	7.5%
事務・技術系の勤め	103	21.5%
現業系の勤め	28	5.8%
サービス系の勤め	58	12.1%
役員・管理職・自由業	28	5.8%
商工・自営業	51	10.6%
主婦	113	23.5%
無職	49	10.2%
その他	9	1.9%
不明	5	1.0%



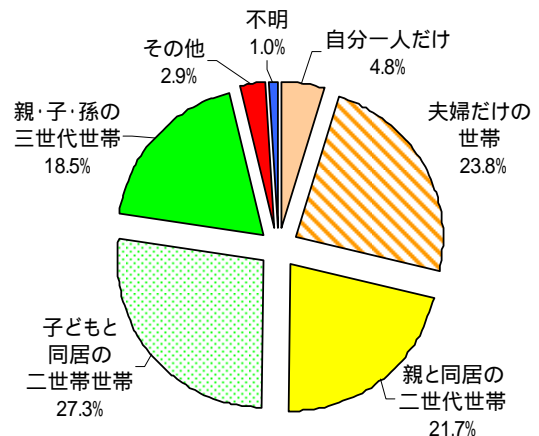
【地域】

北信	153	31.9%
東信	89	18.5%
中信	115	24.0%
南信	123	25.6%



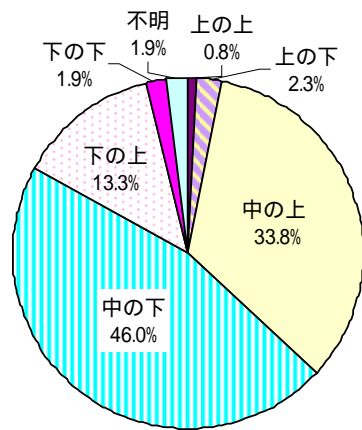
【家族構成】

自分一人だけ	23	4.8%
夫婦だけの世帯	114	23.8%
親と同居の二世帯世帯	104	21.7%
子どもと同居の二世帯世帯	131	27.3%
親・子・孫の三世帯世帯	89	18.5%
その他	14	2.9%
不明	5	1.0%



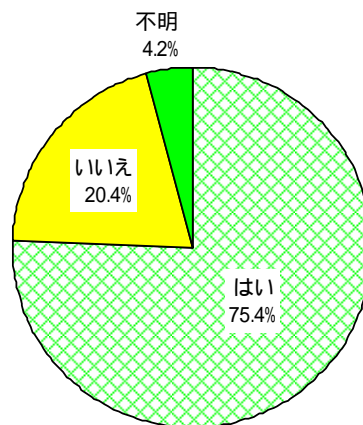
【くらし向き】

上の上	4	0.8%
上の下	11	2.3%
中の上	162	33.8%
中の下	221	46.0%
下の上	64	13.3%
下の下	9	1.9%
不明	9	1.9%



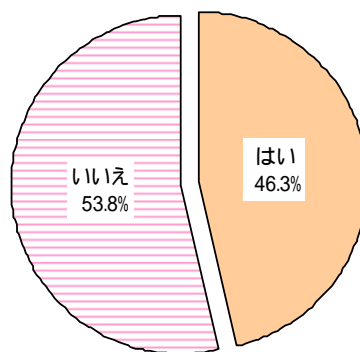
【携帯電話の使用】

はい	362	75.4%
いいえ	98	20.4%
不明	20	4.2%



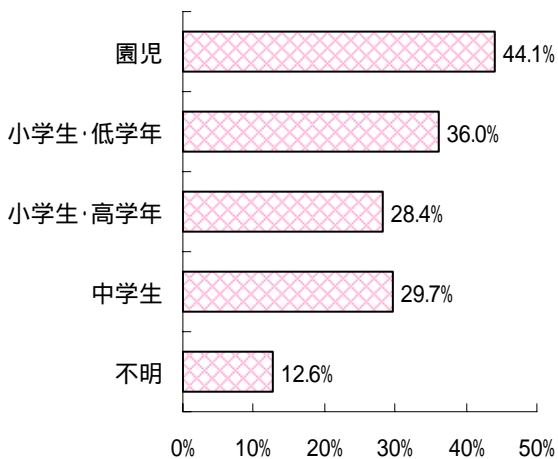
Q1-1 同居・別居を問わず「園児・小学生・中学生」の子ども、あるいは孫をお持ちですか

はい	222	46.3%
いいえ	258	53.8%



Q1-2 子どもの年齢層

園児	98	44.1%
小学生・低学年	80	36.0%
小学生・高学年	63	28.4%
中学生	66	29.7%
不明	28	12.6%



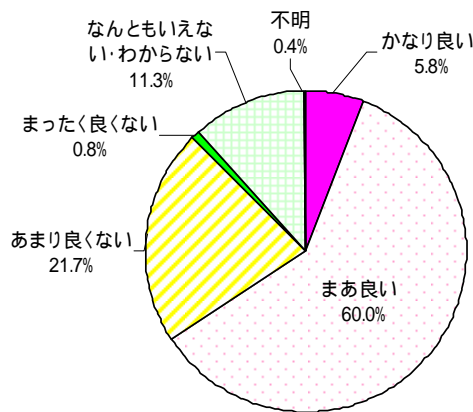
地域の安全

犯罪の被害「かなり心配」70%突破

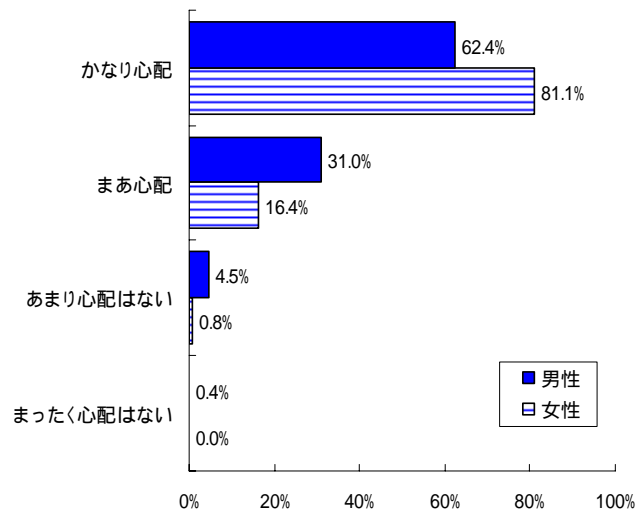
子どもたちの安全・安心の点で、住んでいる市町村の土地柄が「良い」とするのは総体で66%。その大半は「まあ良い」に属する。逆に「良くない」は総体で20%台に乗った。男女にめだつた違いはないが、60代以降では「良い」が70%台の高さを示す。地域的に、「良い」で南信68% - 東信60%の温度差が出ている。

犯罪・事件に子どもが巻き込まれるような事態が「かなり心配」だけで70%を突破し、「まあ心配」を加えると全員近くにのぼる。とくに、女性では「かなり心配」だけで80%を超える。園児～中学生の子どもを持つ人は「かなり心配」が70%半ばの高さを示すが、子どもを持たない人はトーンダウンし70%を割り込む。

住んでいる市町村の「安全」「安心」度



子どもたちが巻き込まれる犯罪・事件について



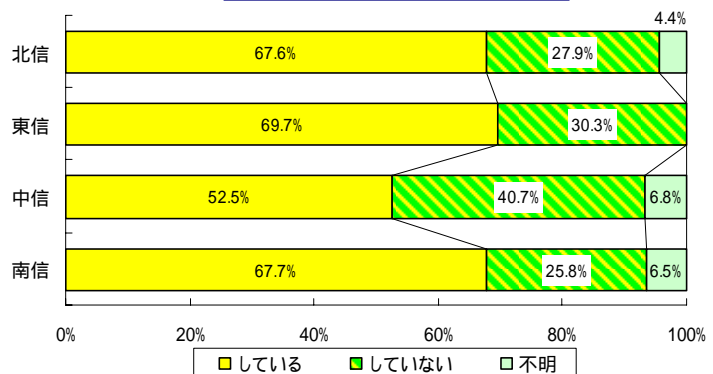
日ごろの備え

「一人にしない」トップ 「子どもの心がけ」も重視

子どもや孫が事件・犯罪に巻き込まれないよう、なんらかの備えを「している」人は64%。「していない」人はその半以下以下の31%。

幼い子どもの親の世代の30代で75%に突出し、40代や孫を持つ60代以降でも60%を超す。地域的には中信のみが50%台に落ち込む。

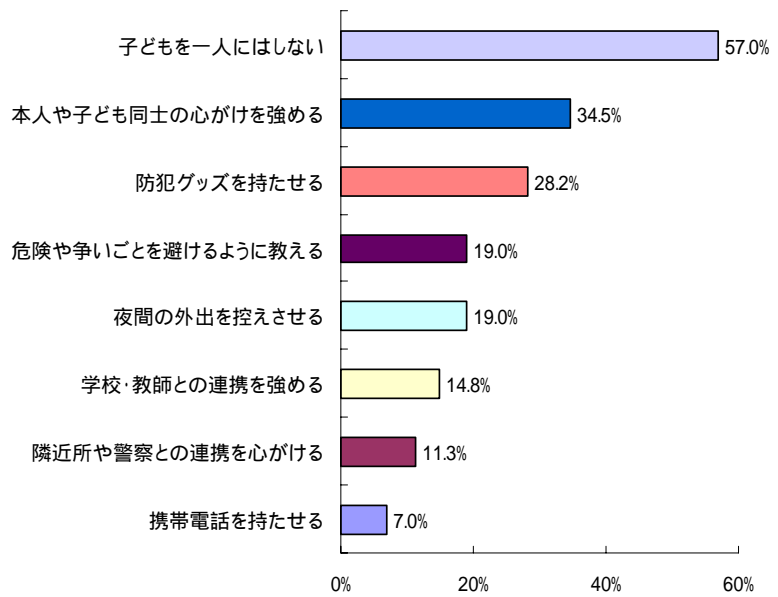
事件・犯罪に対する備え



日ごろの備えの内容は「子どもを一人にはしない」が他を引き離して筆頭に挙げられ「本人や子ども同士の心がけを強める」が2番目。「防犯グッズを持たせる」が続く。

「子どもを一人にはしない」は20～30代でぐんと高いが、40代ではダウンし「子ども同士」や「防犯グッズ」「夜間の外出を控える」同率でトップに並ぶ。

事件・犯罪に対する備えの内容

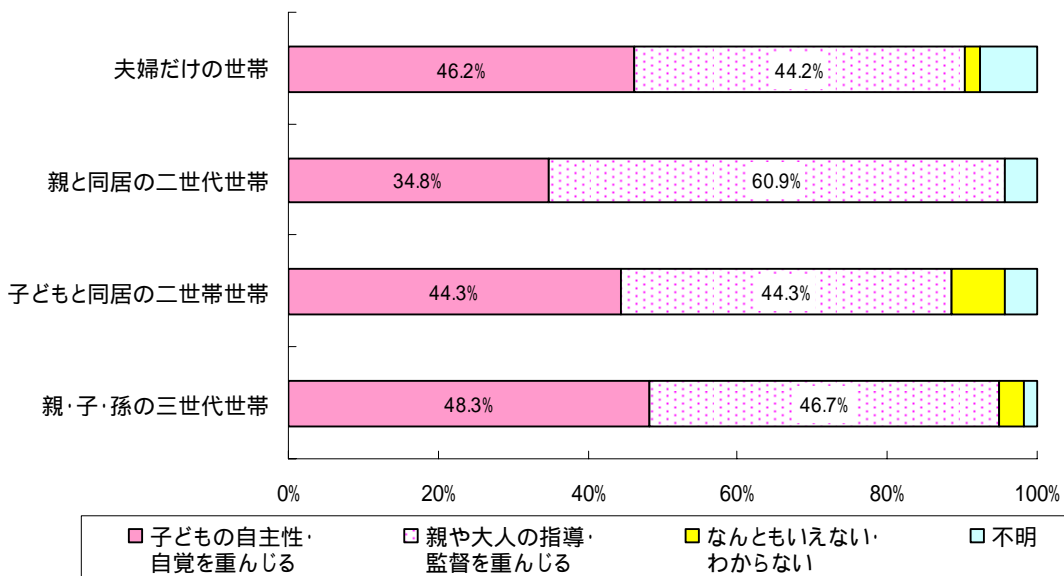


子どもとの“距離感”

「子の自主性」派と「大人の指導性」派が拮抗

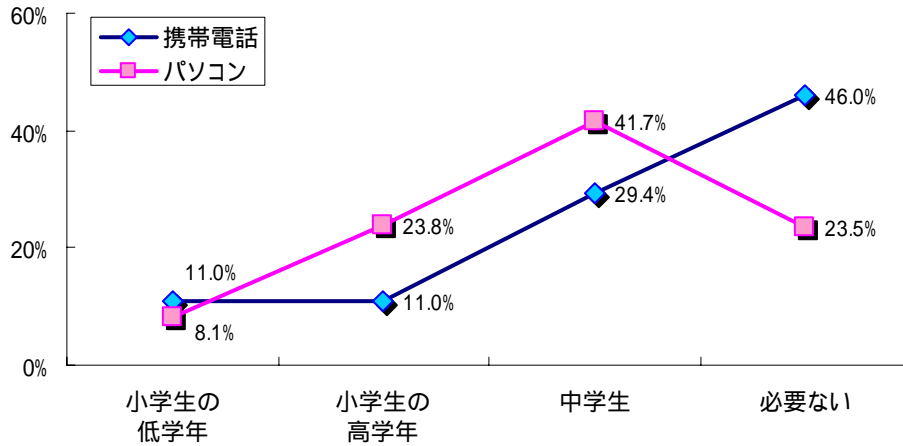
子どもや孫に対する大人としてあるべき立場・姿勢は「子どもの自主性・自覚を重んじる」が47%にのぼるが「親や大人の指導・監督を重んじる」が45%の僅差で拮抗する。男女差があまりみられないが、30代と60代で「自主性・自覚」が半数を占め、50代では「指導・監督」が60%を超える対照がみられる。

家族構成でみると、親と同居の二世帯世帯で「指導・監督」が60%の高率が際立つが、他の世帯ではそろって伯仲状態になっている。園児～小学生の子どもがいる層で「指導・監督」が優位の半面、中学生のいる層では「自主性・自覚」が60%近くになる。



子どもの持ち物・行動の許容

「携帯電話」小学生が10%台 中学生29% 無用は46%



子どもに許す行動・持ち物は「携帯電話」が小学生の低学年、高学年ともに10%余、中学生では29%。「必要ない」が46%にのぼる。

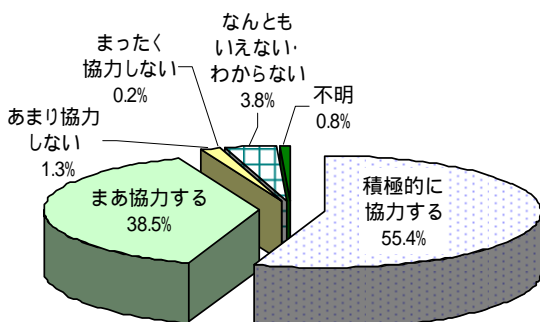
「パソコン」は「必要ない」が24%と低めの中で、小学生高学年で24%、中学生では40%を超える。

地域や警察への協力

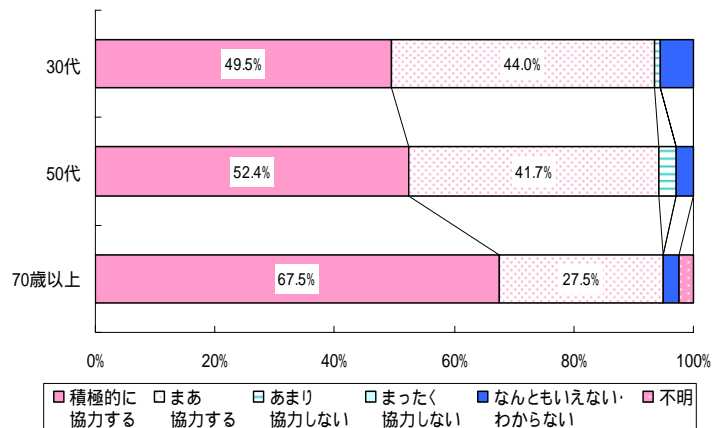
「積極的」ともに過半数 高齢層で高く

子どものための防犯の心がけとして、地域の取りくみや警察の捜査に対して、ともに「積極的に協力する」が50%半ばにのぼり「まあ協力する」を加えると90%台の高率を示す。高い年代層や子どもがいる層ほど協力度合いが高めになる。

地域の取り組みへの協力



警察の捜査への協力



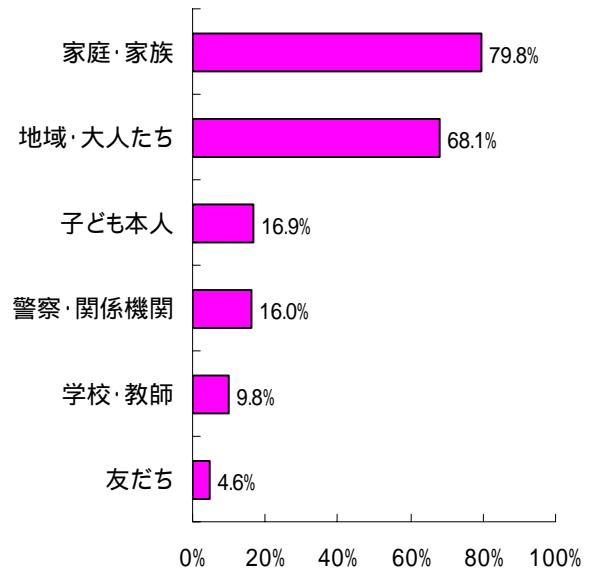
おとな・社会の役割

子どもを守る自己責任「個人には限界」56%

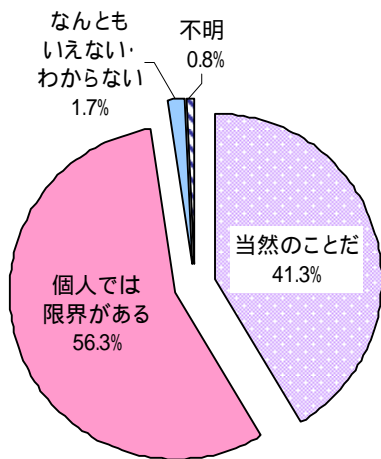
子どもに対する事件・犯罪防止の役割を果たすのは「家庭・家族」がかなりの高率で筆頭に挙げられ「地域・大人たち」が二番手。「子ども本人」が3位に続き「警察」や「学校」を上回る。

「家庭」は老若の年代層が高いが40～50代では低く「子ども本人」や「警察」が高めなのが目をひく。「地域」は若い層ほど高い。

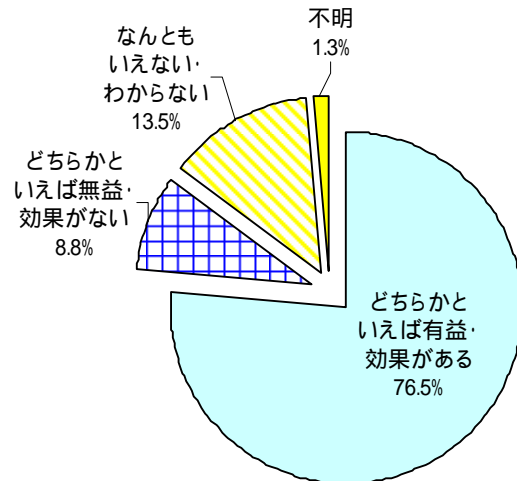
事件・犯罪の防止には、だれの役割が大事か



子どもを守る「自己責任」「自助努力」



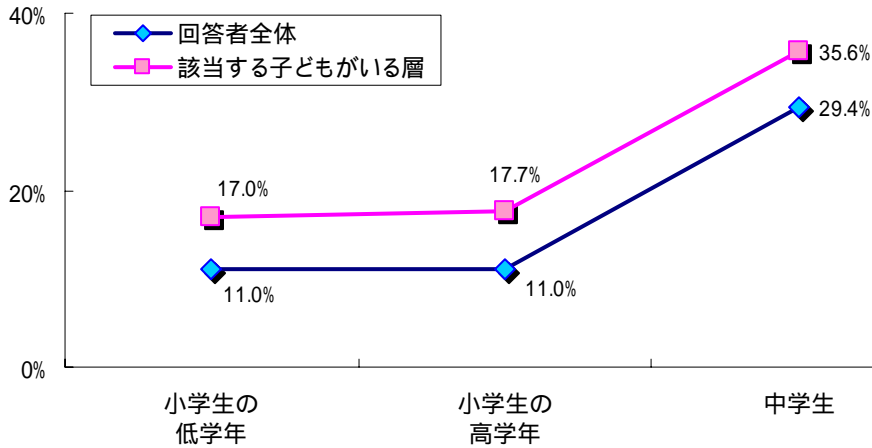
街頭や建物の監視カメラ



事件・犯罪に対する個人や社会のあり方として、家庭・家族で子どもを守る“自己責任”“自助努力”は「当然のことだ」が40%台に達したが「個人では限界がある」が過半数を占めた。また、街頭や建物の監視カメラの役割には「どちらかといえば有益・効果がある」が77%の高率を示した。中でも女性では80%台に乗せる勢い。

自分の孫・子と携帯電話

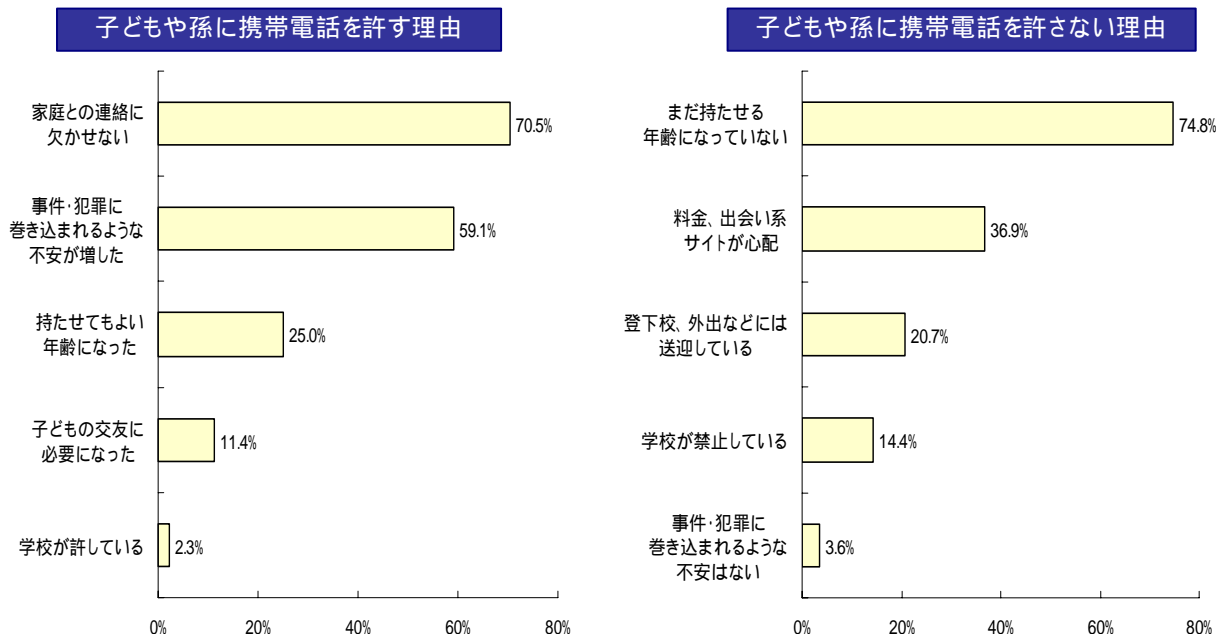
持つのが望ましい「小学生」17%台 「中学生」36%



自分の家族に子どもがいる層に限定して、実際に携帯電話を持たせているか・持たせたいかどうか - 聞いた結果は小学生低学年が17%、高学年は18%と、持ち物・行動に関する回答者全体の考え方（問10）をいずれも数ポイント上回る。中学生では36%に伸び、全体の許容度をやはり上回る。

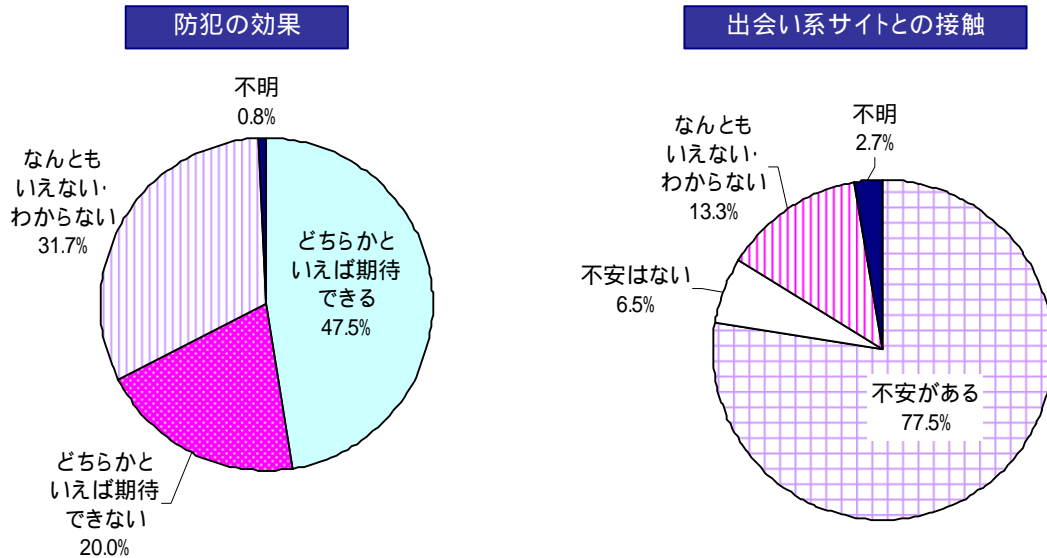
携帯電話を許す理由は「家庭との連絡に欠かせない」がトップに挙げられ「事件・犯罪の不安が増した」も高率で続き「持たせてもよい年齢になった」が3番目。許さない理由では「まだ持たせてよい年齢でない」が抜き出て高く「料金・出会い系サイトの不安」と「登下校、外出などに送迎している」が上位に並ぶ。

携帯電話の使用について、子ども本人が「望んでいる」は36%、「望んでいない」が19%という認識だが、学校側は「望んでいる」がごく低率で「望んでいない」が40%に迫る。



携帯電話の効果

「防犯」半数近く期待 「出会い系に不安」78%



子ども用携帯電話の防犯効果について「どちらかといえば期待できる」が半数近くに近い。期待できないは20%にとどまる。「わからない」が3人に1人近くいる。携帯電話を使っている層か否かの違い、子ども向け携帯電話の販売を知っているかどうかの違いは、いずれも大きくはない。

出会い系サイトとの接触については「不安がある」が80%に迫る高率を示し、女性や40~50代で高めになる。

単純集計

問1 あなたは、ご自分の住んでいる市町村は、子どもたちの「安全」「安心」の点で、現在ほどの程度だと見ていますか

	全体	男性	女性
かなり良い	5.8%	5.8%	5.9%
まあ良い	60.0%	60.7%	59.2%
あまり良くない	21.7%	22.3%	21.0%
まったく良くない	0.8%	1.2%	0.4%
なんともいえない・わからない	11.3%	9.9%	12.6%
不明	0.4%	0.0%	0.8%

問2 あなたは、子どもたちが巻き込まれる犯罪・事件について、どのように受けとめていますか

	全体	男性	女性
かなり心配	71.7%	62.4%	81.1%
まあ心配	23.8%	31.0%	16.4%
あまり心配はない	2.7%	4.5%	0.8%
まったく心配はない	0.2%	0.4%	0.0%
なんともいえない・わからない	1.0%	1.7%	0.4%
不明	0.6%	0.0%	1.3%

問3 あなたは、子どもや孫のために、事件・犯罪に対するなんらかの備えをしていますか

	全体	男性	女性
している	64.0%	56.4%	70.2%
していない	31.1%	38.6%	24.8%
不明	5.0%	5.0%	5.0%

問4 事件・犯罪に対する備えはどんなことですか（2つ以内）

	全体	男性	女性
子どもを一人にはしない	57.0%	59.6%	55.3%
本人や子ども同士の心がけを強める	34.5%	36.8%	32.9%
防犯グッズを持たせる	28.2%	24.6%	30.6%
夜間の外出を控えさせる	19.0%	14.0%	22.4%
危険や争いごとを避けるように教える	19.0%	21.1%	17.6%
学校・教師との連携を強める	14.8%	12.3%	16.5%
隣近所や警察との連携を心がける	11.3%	10.5%	11.8%
携帯電話を持たせる	7.0%	8.8%	5.9%
その他	1.4%	0.0%	2.4%
不明	0.7%	1.8%	0.0%

問5 あなたは、子どもたちの事件・犯罪の防止には、だれの役割が大事だと思いますか

	全体	男性	女性
家庭・家族	79.8%	78.5%	81.1%
地域・大人たち	68.1%	66.9%	69.3%
子ども本人	16.9%	15.7%	18.1%
警察・関係機関	16.0%	17.8%	14.3%
学校・教師	9.8%	11.6%	8.0%
友だち	4.6%	4.1%	5.0%
その他	0.8%	0.8%	0.8%
なんともいえない・わからない	0.0%	0.0%	0.0%
不明	0.8%	0.8%	0.8%

問6-A 家庭・家族で子どもを守る「自己責任」「自助努力」

	全体	男性	女性
当然のことだ	41.3%	45.9%	36.6%
個人では限界がある	56.3%	51.7%	60.9%

なんともいえない・わからない	1.7%	1.2%	2.1%
不明	0.8%	1.2%	0.4%

問6-B 街頭や建物の監視カメラ

	全体	男性	女性
どちらかといえば有益・効果がある	76.5%	70.7%	82.4%
どちらかといえば無益・効果がない	8.8%	11.2%	6.3%
なんともいえない・わからない	13.5%	16.5%	10.5%
不明	1.3%	1.7%	0.8%

問7-A 地域の取り組みへの協力

	全体	男性	女性
積極的に協力する	55.4%	56.2%	54.6%
まあ協力する	38.5%	37.6%	39.5%
あまり協力しない	1.3%	1.7%	0.8%
まったく協力しない	0.2%	0.0%	0.4%
なんともいえない・わからない	3.8%	3.3%	4.2%
不明	0.8%	1.2%	0.4%

問7-B 警察の捜査への協力

	全体	男性	女性
積極的に協力する	54.4%	54.5%	54.2%
まあ協力する	40.0%	40.5%	39.5%
あまり協力しない	2.1%	1.7%	2.5%
まったく協力しない	0.0%	0.0%	0.0%
なんともいえない・わからない	3.1%	2.9%	3.4%
不明	0.4%	0.4%	0.4%

問8 あなたは、子どもや孫に対して、大人としてどのような立場にあるのが好ましいと考えていますか

	全体	男性	女性
子どもの自主性・自覚を重んじる	46.8%	45.5%	47.9%
親や大人の指導・監督を重んじる	44.6%	47.5%	42.1%
なんともいえない・わからない	4.5%	4.0%	5.0%
不明	4.1%	3.0%	5.0%

問9 あなたの子どもや孫は通園・通学のほかに、塾通いや習いごとをしていますか

	全体	男性	女性
スポーツ系	40.5%	41.6%	39.7%
習いごと系	35.6%	30.7%	39.7%
学習塾	25.7%	24.8%	26.4%
習っていない	32.0%	35.6%	28.9%
不明	4.1%	4.0%	4.1%

問10-A 携帯電話

	全体	男性	女性
小学生の低学年	11.0%	10.7%	11.3%
小学生の高学年	11.0%	10.7%	11.3%
中学生	29.4%	29.3%	29.4%
必要ない	46.0%	47.5%	44.5%
不明	2.5%	1.7%	3.4%

問10-B 自分の部屋

	全体	男性	女性
小学生の低学年	6.3%	7.0%	5.5%
小学生の高学年	28.1%	27.3%	29.0%
中学生	52.3%	51.2%	53.4%
必要ない	10.4%	12.0%	8.8%
不明	2.9%	2.5%	3.4%

問 10-C パソコン

	全体	男性	女性
小学生の低学年	8.1%	9.9%	6.3%
小学生の高学年	23.8%	23.1%	24.4%
中学生	41.7%	44.6%	38.7%
必要ない	23.5%	19.8%	27.3%
不明	2.9%	2.5%	3.4%

問 10-D ゲームセンター遊び

	全体	男性	女性
小学生の低学年	1.7%	1.7%	1.7%
小学生の高学年	6.0%	7.9%	4.2%
中学生	13.8%	14.9%	12.6%
必要ない	75.2%	73.1%	77.3%
不明	3.3%	2.5%	4.2%

問 11 あなたは、子どもたちの「安全・安心」のための携帯電話が販売されているのをご存知ですか

	全体	男性	女性
知っている	75.4%	70.7%	80.3%
知らない	23.5%	27.7%	19.3%
不明	1.0%	1.7%	0.4%

問 12-A 小学生・低学年の子どもに

	全体	男性	女性
はい	10.2%	6.1%	13.6%
いいえ	49.7%	51.5%	48.1%
対象の子どもはい	27.2%	27.3%	27.2%
ない			
不明	12.9%	15.2%	11.1%

問 12-B 小学生・高学年の子どもに

	全体	男性	女性
はい	9.5%	4.5%	13.6%
いいえ	44.2%	45.5%	43.2%
対象の子どもはい	27.2%	28.8%	25.9%
ない			
不明	19.0%	21.2%	17.3%

問 12-C 中学生の子どもに

	全体	男性	女性
はい	21.1%	21.2%	21.0%
いいえ	38.1%	42.4%	34.6%
対象の子どもはい	27.9%	24.2%	30.9%
ない			
不明	12.9%	12.1%	13.6%

問 13 子どもや孫に携帯電話を許す理由は何ですか（2つ以内）

	全体	男性	女性
家庭との連絡に欠かせない	70.5%	66.7%	73.1%
事件・犯罪に巻き込まれるような不安が増した	59.1%	50.0%	65.4%
持たせてもよい年齢になった	25.0%	33.3%	19.2%
子どもの交友に必要なになった	11.4%	22.2%	3.8%
学校が許している	2.3%	0.0%	3.8%
その他	2.3%	5.6%	0.0%
特にない	0.0%	0.0%	0.0%
不明	2.3%	0.0%	3.8%

問 14 子どもや孫に携帯電話を許さない理由は何ですか（2つ以内）

	全体	男性	女性
まだ持たせる年齢になっていない	74.8%	70.0%	78.7%
料金、出会い系サイトが心配	36.9%	34.0%	39.3%
登下校、外出などには送迎している	20.7%	12.0%	27.9%
学校が禁止している	14.4%	14.0%	14.8%
事件・犯罪に巻き込まれるような不安はない	3.6%	2.0%	4.9%
その他	4.5%	8.0%	1.6%
特にない	1.8%	0.0%	3.3%
不明	1.8%	4.0%	0.0%

問 15-A 子ども本人

	全体	男性	女性
望んでいる	36.1%	36.4%	35.8%
望んでいない	19.0%	19.7%	18.5%
なんともいえない・わからない	39.5%	36.4%	42.0%
不明	5.4%	7.6%	3.7%

問 15-B 学校

	全体	男性	女性
望んでいる	4.8%	4.5%	4.9%
望んでいない	38.1%	34.8%	40.7%
なんともいえない・わからない	50.3%	51.5%	49.4%
不明	6.8%	9.1%	4.9%

問 16-A 防犯の効果

	全体	男性	女性
どちらかといえば期待できる	47.5%	47.5%	47.5%
どちらかといえば期待できない	20.0%	23.1%	16.8%
なんともいえない・わからない	31.7%	28.1%	35.3%
不明	0.8%	1.2%	0.4%

問 16-B 出会い系サイトとの接触

	全体	男性	女性
不安がある	77.5%	74.4%	80.7%
不安はない	6.5%	6.6%	6.3%
なんともいえない・わからない	13.3%	16.1%	10.5%
不明	2.7%	2.9%	2.5%